

新人バドミントン大会 要項

- 1 大会名 第40回筑紫区中学校新人バドミントン大会
- 2 期 日 令和4年10月8日(土) 開 場 8時30分
競技開始 9時30分
- 3 会 場 筑紫野市農業者トレーニングセンター(筑紫野市諸田172 TEL923-6290)
- 4 参 加 校 筑山,筑紫野南,筑紫野,学業院,大野,大野東,平野,春日,春日北,春日南,那珂川南 の計11校
(男子) 団体…春日北,平野,筑山,筑紫野南,那珂川南,学業院 の計6校
(女子) 団体…春日,春日北,春日南,大野東,大野,平野,筑山,筑紫野,筑紫野南,学業院,那珂川南 の計11校
- 5 参 加 資 格 筑紫区中学校体育連盟規約『大会出場資格』による。
- 6 競 技 方 法 ○ 2複1単 1チーム5人以上8人以内とする。各校1チームまで、パート別リーグ戦を行う。
その後、決勝トーナメントを行う。 ※単と複を兼ねることはできない。
○ 試合は、男女単複ともに21点1セット。ただし、時間に余裕があれば準決勝と決勝のみ21点3セットで行う。
ラリーポイント制で行い、20-20になったら2点差がつくまで行い、29-29になったら30点目を取ったものが勝者となる。
また、予選リーグは3本すべて行い、その後のすべてのトーナメントは2点先取とする。
○ 団体戦のオーダーは、試合前までに提出する。提出後の選手変更はできない。
- 7 競 技 規 則 ①日本バドミントン協会競技規則、および福岡県中学校バドミントン大会競技規則に準ずる。
②引率・監督は出場校の校長・教員とする。コーチについては、出場校の教育職員とする。但し、教育職員以外のコーチは校長が認め、筑紫区中体連に登録し承認を受けたものとする。
③ゼッケンは、背部につける。(右下の図参照)
- 8 申し合わせ事項 ①試合球は日本バドミントン協会検定水鳥球(2種検定合格)
②リーグ戦で勝敗が同じ(得失点差でも)になった場合は、抽選を行って順位を決めることもある。
③筑紫区中学校体育連盟およびバドミントン専門部の「新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン」を遵守する。
④AEDは体育館ロビーに設置している。
- | |
|-------|
| 30 cm |
| 学 校 名 |
| 姓 |
| 20 cm |
- 9 表 彰 表彰は、3位まで行う。
なお、筑紫区大会に登録した学校は、すべて筑前地区大会に出場することができる。
- 10 専 門 部 長 江口 秀和
大野城市立大野東中学校 大野城市乙金台2-5-1
(TEL:503-5101 FAX:503-5183 Mail:eguchi-h@onojo-ed.jp)
- 11 審 判 員 武富彩(那珂川南)・原健一(筑紫野南)・井原麻貴(大野)・中牟田知佳(春日)・高尾久美(学業院)・日下部正実(春日北)
- 12 競 技 役 員 中牟田知佳,五反田隆(春日)太田みのり(春日南)日下部正実,原田千聡,永利淳志(春日北)
高尾久美,大石進,井上美明,伊東亜美(学業院)森美沙子,井原麻貴(大野)江口秀和,江島純子,
中岡美香子(大野東)菅伸一,菊池康子,奥藪浩一(平野)原健一,牟田口秀人,河野美南(筑紫野南)
後藤駿,長崎健一,武富彩,河原千草(那珂川南)吉村竜治,竹内卓,河野隆子,關幸徳(筑山)
松尾真矢,高木円香(筑紫野)
- 13 申 し 込 み 9月27日(火)までに出場申込書をメールかファックスで提出し、原本は職印を押して大会の当日に本部に提出すること。

新型コロナウイルス感染拡大防止のためのガイドライン

1 参加者に関する留意事項

- (1) 各学校で「体調確認表」（自宅で検温）を記入し、受付時に提出する
- (2) 発熱もしくは、体調に異変を感じた時には参加を中止する（棄権時は、会場に行かず、各学校の顧問に電話等で連絡する）
- (3) 体育館への入場は、3密にならないように学校ごとに時間をずらす
- (4) 外履きは袋に入れ、自分で管理し、下足箱は使用しない
- (5) 試合以外では、マスクを着用する（マスクは2枚以上持参すること）
- (6) ゴミは全て持ち帰り、自宅で処分する
- (7) 自身の試合・役割（敗者審判等）が終了したら、観戦や応援をせず、速やかに帰宅する
- (8) 階段やギャラリーの手すりには、触れない
- (9) 密をさけるために、組み合わせやタイムテーブルの貼付をしない

2 大会役員に関する留意事項

- (1) 入場前に入り口付近で密にならないように、各学校の待機スペースを設定し、入場時間もずらす
- (2) 入場後にアルコールで手指消毒および非接触型の体温計による検温を実施する
- (3) 入場の際に、発熱もしくは体調が優れない場合は、入場を拒否する
- (4) 開閉会式は、実施しない
- (5) 試合終了後には、審判用紙をはさむバインダー、シャープペン、シャトルの筒、これらを入れたかごのすべてを消毒する
- (6) 消毒をする際は、ゴム手袋をつけて行う
- (7) 試合に影響のない程度に換気をした状態で大会を実施する
- (8) 適宜、会場の巡回を行い、手すりや電気のスイッチなどの消毒を行う
- (9) コーチングシートは、設置しない
- (10) 密をさけるために、組み合わせやタイムテーブルの貼付をしない

3 監督・コーチに関する留意事項

- (1) コーチングは一定の距離を保ち、必要最小限に短時間で行う
- (2) ミーティング等においても3密を避け、極力屋外で行い、会話時にマスクを必ず着用するなどの感染防止対策に十分配慮する
- (3) コーチングシートは設置しないため、試合中はコート周辺の周辺で待機する

4 選手および応援の生徒に関する留意事項

- (1) サブアリーナでは、女子生徒の着替えのみとし、食事はしない
- (2) サブアリーナは、密を避けるよう各自が心掛けて利用する。また、定員が設定されている場合は遵守する
- (3) 観戦は、指定された場所や席、または距離を空けて行う
- (4) 観戦中の応援は、声を出さず拍手などで行う
- (5) ウォーミングアップは距離をあけて行う
- (6) コートへの入退場は、それぞれ指定された時間に、速やかにコートに集合する（移動の際は2m以上の間隔を空ける）
- (7) コートサイドにはかごやドリンクケースは設置しないので、バッグ等を持参し、コートサイドもしくは所定の場所に置き、ドリンクも各自のバッグに収容する。こぼした時は、モップ等で拭きとる（自分のタオルを使用して拭かない）
- (8) ラケット・タオル等の用具の貸借はしない
- (9) 床の汗拭きは、モップもしくは所定の用具を使用する
- (10) 汗をコート内やコートサイドに投げない
- (11) シューズの裏を手で拭かない
- (12) 意識的に試合中の声出しはしない
- (13) プレーヤー同士やコーチとハイタッチ、握手等の接触を行わない
- (14) 試合の前後には、アルコールで手指消毒を行う

5 審判員および係員に関する留意事項

- (1) 感染防止のために、審判台は使用しない
- (2) 主審は、試合の前後にプレーヤーがアルコールで手指消毒をしているか確認する
- (3) 主審は、支柱から最低でも1m離れて行う
- (4) 得点板の担当は、備え付けのビニール手袋を使用する
- (5) 試合で使用したシャトルは筒に戻さずに、そのままかごに入れる
- (6) 主審は、本部席において試合の前後にアルコールで手指消毒を行う

6 観客に関する留意事項

- (1) 感染防止のために、観客は参加校の監督およびコーチ、1・2年生の部員、教職員のみとする（保護者や卒業生などの入場は禁止する）
- (2) 体育館への出入りの度にアルコールで手指消毒する
- (3) 試合終了後、体育館を出る際は、本部にて準備したタオルとアルコールで、応援の際に使用した場所を消毒する